

“縦軸思考”を育てる須田dy(ふるさと・須田学習)



～須田を学ぶ(Sudady)を価値ある学習(Study)につなぐ～
 「ふるさと・須田」の価値は何でしょうか。須田小では、次のように考えています。

■「お客様」と「お返し」の“縦軸思考”を育てる「須田 dy」
 自分の住む「ふるさと」の姿は、先人や周りの人たちのたゆまぬ努力によって、維持・発展してきた結果であり(お客様で)、「ふるさと」をよりよい未来につなげていくために、今何ができるか考え行動(お返し)することに、「ふるさと」を学ぶ意味や価値があります。別の言い方をすれば、「過去・現在・未来」の時間軸で物事を考える“縦軸思考”を育てることにつきます。そして、それは、自分の成長を見つめることにもつながります。他の人や、他の物、他の場所と単純に比べて、「一喜一憂する”横軸思考”を超えるものです。

■ キラキラ・ヒーローが、すぐ横に！

以前、学校だよりで紹介した、今年から全校で取り組んでいる「須田 dy(ふるさと・須田学習)」のねらいは、ここにあります。そのため、各教科学習で身に付けた知識や考え方を合わせ使う場面を意図的に作り、自分の生活を振り返ります。

メディアの登場するキラキラ輝くヒーローのように、安全で過ごしやすい生活を支えているヒーローたちが、すぐ横にいることを再発見する学習です。須田にある施設で働く人、水から須田を守った人、そして、その水と須田の土から果物や米を生み出した名人など。つまり、「どこか」ではなくて、「ここ」にいるヒーロー探しとも言えるかもしれません。

小学校6年間の学習のまとめの6年生のテーマは、「加茂軍議」から学ぶ「対話の知恵」です。日本が2つに分かれて戦った「戊辰戦争」の分岐点「加茂軍議」の劇づくりを通して、当時の人たちの感じ方や考え方の違いを意識しつつ、自分の中に「ヒーロー」(問題を解決するための対話の知恵をもてる人)を作ることに挑戦します。

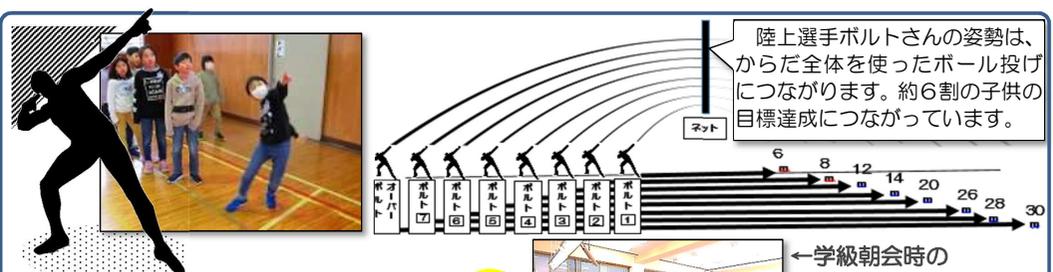


須田 dy (ふるさと・須田学習) 「対立から対話へ」

～加茂軍議から学ぶ 20人の知恵探し～

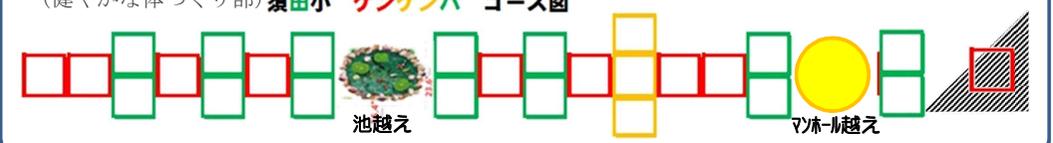
6年1組20名による学習劇
 150年以上も前、加茂で行われた加茂軍議！新潟、日本のかたちを変えた2回の会議とは？前後の戊辰戦争の歴史的事実を踏まえながら、歴史から学ぶ「対話の価値」について学んだことを、劇で表現します！

令和2年2月20日(木) 4校時(11:30～)



取り組んでいます！ 体力向上活動

「グーパー体操」、「ボルト投げ」ネット、「ケンケンパ・コース」などの、日常的な体力向上の環境を設けています。特に3学期は、体育授業の最初に「る・る・ぶ運動」タイムを位置付けています。また、毎週火・木曜日の20分休みに、全校で縄跳び運動にも取り組んでいます。



早寝 ↓ メディア時間 ↑ 元気アップ週間

～ 起きている時間に何をしているの？

元気アップ週間へのご協力ありがとうございました。

適切なメディア時間(1日2時間以内)に抑えている子供が多くなっている一方、就寝時刻が遅くなる子供がやや増えています。

今回は「家読書」をスケジュールに入れることや、貸出を3冊に増やす等の重点取組をした結果です。2月の学年懇談会の際に、子供たちの様子を話題にしてください。

項目	1月	10月
睡眠時間は十分とれてる?	87.9% (よくできた), 12.1% (できなかった)	92.3% (よくできた), 7.7% (できなかった)
メディア時間は守れてる?	95.6% (よくできた), 4.4% (できなかった)	85.7% (よくできた), 14.3% (できなかった)

■早寝の子供は、やや減少傾向です。 ■適切なメディア時間(1日2時間以内)の子供は、増加傾向です。

読書量調査 ※市立図書館からお借りした本は含まれていません

